

☆最近（ / ）のニュース

□ 衆議院の優越・・・教科書 p. 89 上図

<原則１> 国会の議決は衆議院・参議院の議決の一致が必要。

<原則２> 両院の議決が一致しない場合、（<sub>1</sub> ）会が組織されることあり。

<原則３> 以下の場合、衆議院に大きな権限が与えられている。 ＝「衆議院の優越」

優越事項	内 容
(1) 法律案の議決	参議院が衆議院と異なった議決をした場合、衆議院が出席議員の（ <sub>2</sub> ）以上の多数で再可決したときは、衆議院の議決だけで成立。
(2) （ <sub>3</sub> ）の議決	（ <sub>4</sub> ）は衆議院に先に提出しなければならない。 参議院が予算を受け取ってから（ <sub>5</sub> ）日以内に議決しないときは、衆議院の議決が国会の議決となる。
(3) （ <sub>6</sub> ）の承認	予算の議決と同じ。
(4) （ <sub>7</sub> ）の指名	両院の指名が異なる場合は、予算のときの（ <sub>8</sub> ）日以内が（ <sub>8</sub> ）日にかわる。
(5) （ <sub>9</sub> ）の決議	内閣に対して不信任の決議をすることができるのは衆議院のみ。 参議院には議決権がない。

□ 国会の運営（法律ができるまで）・・・教科書 p. 91 上図

① 法律案を提案できるのは、国会（<sub>10</sub> ）か（<sub>11</sub> ）である。

② 議案に対して、国会での実質的な審議は、〔<sub>12</sub> 〕を中心に行われる。

その際、審議の過程で専門家などの意見を聞く（<sub>13</sub> ）会が開かれることもある。

③ ②で審議された結果が〔<sub>14</sub> 〕に報告され、討論ののち採決される。

④ ただし、最低必要な出席数である（<sub>15</sub> ）として、委員会では、総議員の（<sub>16</sub> ）以上、本会議では（<sub>17</sub> ）以上と定められている。

**課題** なぜ、衆議院にのみこのような大きな権限があたえられているか？

☆最近（ / ）のニュース

□ 衆議院の優越（教科書 p. 97）

<原則１> 国会の議決は衆議院・参議院の議決の一致が必要。

<原則２> 両院の議決が一致しない場合，〔<sup>1</sup> 両院協議 〕会が組織されることあり。

<原則３> 以下の場合，衆議院に大きな権限が与えられている。＝「衆議院の優越」

優越事項	内 容
(1) 法律案の議決	参議院が衆議院と異なった議決をした場合，衆議院が出席議員の（ <sup>2</sup> 3分の2 ）以上の多数で再可決したときは，衆議院の議決だけで成立。
(2) ( <sup>3</sup> 予算 ) の先議と議決	( <sup>4</sup> 予算 )は衆議院に先に提出しなければならない。 参議院が予算を受け取ってから（ <sup>5</sup> 30 ）日以内に議決しないときは，衆議院の議決が国会の議決となる。
(3) ( <sup>6</sup> 条約 )の承認	予算の議決と同じ。
(4) ( <sup>7</sup> 内閣総理大臣 ) の指名	両院の指名が異なる場合は，予算のときの（ <sup>8</sup> 30 ）日以内が（ <sup>8</sup> 10 ）日にかわる。
(5) ( <sup>9</sup> 内閣不信任 ) の決議	内閣に対して不信任の決議をすることができるのは衆議院のみ。 参議院には議決権がない。

□ 国会の運営（法律ができるまで）

⑤ 法律案を提案できるのは，国会（<sup>10</sup> 議員 ）か（<sup>11</sup> 内閣 ）である。

⑥ 議案に対して，国会での実質的な審議は，〔<sup>12</sup> 委員会 〕を中心に行われる。

その際，審議の過程で専門家などの意見を聞く（<sup>13</sup> <sup>こうちょう</sup>公聴 ）会が開かれることもある。

⑦ ②で審議された結果が〔<sup>14</sup> 本会議 〕に報告され，討論ののち採決される。

⑧ ただし，最低必要な出席数である（<sup>15</sup> <sup>ていそくすう</sup>定足数 ）として，委員会では，総議員の（<sup>16</sup> 2分の1 ）以上，本会議では（<sup>17</sup> 3分の1 ）以上と定められている。

課題 なぜ、衆議院にのみこのような大きな権限があたえられているか？

衆議院には解散制度があり，議員の任期も短いので，国民の意思がよく尊重されているから。